

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度		
事業番号	7	事業名	ワンコインサービス事業 (中事業名) 一般介護予防事業		担当課		長寿課		
					予算区分（款-項-目-中事業）		3-1-2-2 一般介護予防事業		
					決算書ページ		25 ~ 介護		
I 基本情報	総合計画	基本目標	4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち	1 「やってみたい」でつながるまち					
		政策	2 地域の課題をみんなで解決	2 「やってみたい」が実現できる仕組みづくり					
		施策	(1) 市民による助け合い・支え合いの地域づくりの推進	(1) 高齢者に役割と居場所があるまちづくり					
	その他	開始年度	平成25年度						
		終了予定年度	年度	☒ 未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働可		
		根拠法令等	長久手市ワンコインサービス事業実施要綱						
		関連計画	第9期高齢福祉・介護保険事業計画						
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)			
		【対象】 ☒ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 10756 【事業内容】 高齢者に役割と居場所があり、また住み慣れた家で安心して暮らし続けられる地域づくりを推進するため、在宅高齢者の軽度な日常生活の困りごとを、地域の有償ボランティアが支援する事業を行う。		【アクションプラン指標】 有償ボランティア（支援者）の人数【累計】 【その他の指標】		有償ボランティア（原則60歳以上）が高齢者の困りごと支援をすることにより、支え合いの意識を持つ、役割や自分の存在意義を見出すことができる。 (成果指標名) 全活動件数における有償ボランティア（支援者）が活動した件数の割合		④最終成果 (大事業の将来像)	
						大事業共通		地域に出て、社会参加や役割を持つことにより、自立し、地域で元気で暮らす高齢者が増加する。 地域で支援をすることが当たり前になり、助け合いの活動が活発になる。 地域で元気に暮らす高齢者が増加することにより要介護認定者及び介護給費の伸びを抑制する。	

Ⅱ 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ		区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度
		1	【アクションプラン指標】 有償ボランティア（支援者）の人数【累計】	人	基準値	129	目標値	137	140	143	146	150
					目標値	150	実績	147				
		2			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		3			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		4			基準値		目標値					
					目標値		実績					
エピソード	事業開始 の背景	当初、市直営で本事業を実施していたが、新しい総合事業の開始段階として、地域に密着して活動する者が制度に参加する市民の状況を正しく把握して、支え合い活動のマッチングを行ったり、参加者の支え合いの意欲や能力を引き出ししたりすることが必要であるため、平成29年度から民間事業者へ委託している。										
	各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
	R6	東小校区あたりの地域で、支援者が少ないという課題があったが、支援者が市民に呼びかけ新たな支援者を確保することができ、支援内容の地域差の解消を目指した。				R7						
	R8					R9						

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標										
		全活動件数における有償ボランティア（支援者）が活動した件数の割合	%	R4 年度		R5 年度		【現状】 R6 年度		R8 年度		R10 年度		
				91.9		92.5		95.0		96.0		97.0		
		成果達成状況					指標目標値の根拠							
		A	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている					実績値に基づいた推計						
	評価の理由、分析													
	全活動件数における有償ボランティア（支援者）が活動した件数の割合が増加しており、職員が支援に入る割合が減っていることから、地域での住民同士の支え合いが進んでいると評価できるため													
	加える変化（ACTION）	今後の方向性		今後の方向性の理由										
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		令和6年度から取り組んでいる短期集中予防サービスの利用者やちょっとした困りごとがある高齢者が専門職の介護保険の訪問サービス（ヘルパー等）から、市民同士が支えあるワンコインサービスにシフトして行くことを検討しているため。									
		改善ポイント												
（成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）														
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度			
1		ワンコインサービス事業補助金	☐ 拡充 ☒ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	今後本市の高齢者が急激に増加していくことに伴い、生活の困りごととも増加すると考えられる。現在の活動費300円／1回の補助金について、必要性及び金額等検討していく必要がある。								R8		
2		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止												
3		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止												

IV 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		3 年間の推移	(単位：千円)		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度		
		B	A. 拡充 B. 現状維持		事業費	予算	決算	予算	決算	予算			
			C. 縮小 D. 廃止			8,696	8,519	9,212	8,426	9,273			
		理由			特定財源	合計額	6,941	6,931	7,392	6,930	7,446		
		プロポーザルで民間事業者を募集し、委託していくため。				(内 国費)	1,586	1,584	1,689	1,584	1,701		
						(内 県費)	991	990	1,056	990	1,063		
						(内 諸収入)	0	0	0	0	0		
						(内 その他)	4,364	4,357	4,647	4,356	4,682		
					一般財源	1,755	1,588	1,820	1,496	1,827			
		積算額			R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞								
		未定			ワンコインサービス事業委託 8,509千円（8,448千円）								
					ワンコインサービス事業補助金 764千円（764千円）								